

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1	消防ポンプ自動車更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市本浦分団 いちき串木野市西浜町1番地2		
交付金事業の概要	消防ポンプ自動車 1台		
総事業費(千円)	20,088	交付金充当額(千円)	19,430
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、12分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安心安全なまちづくりを目指している。</p> <p>本浦分団に配備されている消防ポンプ自動車(あさかぜ号)は、平成4年に導入以来、既に21年が経過しており、最近では車両のクラッチやブレーキ系統及びポンプ関係に不具合がみられ、また、ポンプ本体の老朽化、止水弁等の経年劣化による放水圧力の低下、更には吸管的の経年劣化による内張ゴムの剥離やひび割れによるピンホールの発生などにより吸水能力の低下(落差のある箇所から吸水ができない。)するなど、消防活動に支障を来している状況であった。</p> <p>今回更新された消防ポンプ自動車は、CD-I型で乗車定員10名、ポンプは高性能高圧タービンポンプでA-2級のポンプ性能を有し、自動揚水ができる最新型の車両である。</p> <p>更新後、これまで火災出動はないが、ポンプの取扱い訓練3回及び水利調査等に5回使用している。</p> <p>最新型の消防ポンプ自動車に更新したことにより、経年劣化による不具合等は解消され、現場での消火活動がスムーズに行え、消防力の強化、火災による被害の軽減が図られ、消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防ポンプ自動車購入	指名競争入札	(株)鹿児島消防防災
			契約金額(千円) 20,088
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
ポンプ車両の計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考えられる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
2	小型動力ポンプ付積載車更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防団中央分団 いちき串木野市旭町 1 番地 2		
交付金事業の概要	小型動力ポンプ付積載車 1 台		
総事業費 (千円)	8, 9 6 4	交付金充当額 (千円)	7, 9 0 0
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に 1 消防署、1 分遣所、消防団本部、1 2 分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安心安全なまちづくりを目指している。</p> <p>中央分団に配備されている小型動力ポンプ付積載車 (すいせい号) は、平成 4 年に導入以来、既に 2 1 年が経過しており、最近では車両のクラッチやブレーキ系統に不具合がみられ、また、小型動力ポンプにあっては、ポンプ本体の老朽化によりエンジン出力やポンプ性能が低下するなど、消防活動等に支障を来たしている状況であった。</p> <p>今回更新された小型動力ポンプ付積載車は、ダブルキャブオーバー型の 4 輪駆動車で、B - 3 級のポンプ性能を有する小型動力ポンプを積載する最新型の車両である。</p> <p>更新後、これまで火災出動はないが、ポンプの取扱い訓練 3 回及び水利調査等に 5 回使用している。</p> <p>最新型の小型動力ポンプ付積載車に更新したことにより、経年劣化による不具合等は解消され、現場での消火活動や資機材搬送等がスムーズに行えるため、消防力の強化が図られることから、消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全が確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	小型動力ポンプ付積載車	指名競争入札	(株)鹿児島消防防災
			契約金額 (千円) 8, 9 6 4
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
小型動力ポンプ付積載車の計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考えます。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
3	消防用ホース（署）更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	消防用ホース（署） 50 mm（1.6MPa）10 本 65 mm（1.6MPa）20 本		
総事業費（千円）	1, 278	交付金充当額（千円）	1, 000
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、12分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>消防用ホース 65 mmについては、消火活動の基本になるホースで、消防車から火点へ大量の消火水を送ることができる。また、消防用ホース 50 mmについては、65 mmの消防用ホースに比べ軽量で、消火活動時における搬送等が容易であり、主に火点直近において消防用ホース 65 mmから送られた消火水を分岐させ、2方向より消火するなど積極的な消火活動に活用している。</p> <p>消防用ホースの耐用年数は、使用頻度や取扱い方等によって異なるが、一般的には7年程度とされており、現在、消防署で保有している消防用ホース 65・50 mmは、半数が10年以上経過しているもので、劣化や摩耗等によって使用圧に対する漏水や破損等の恐れが大きく、消火活動及び安全管理上支障を来たしていた。</p> <p>特に、危険物火災では、十分な人員及び消火薬剤等を集結させ、一気に鎮火まで継続して消防活動が実施できる態勢を取ることが必要であり、そのためにも長時間の高圧放水に耐えられる新しいホースが必要不可欠であった。</p> <p>今回、更新した消防用ホースは、使用圧 1.6MPa の呼称 65 mm（結合金具口径 65 mm）のホースが20本及び呼称 50 mm（結合金具口径 50 mm）のホース10本である。</p> <p>更新後、これまで火災現場6回、消防合同演習2回及び火災防ぎょ訓練28回で使用している。</p> <p>今回、10年以上経過の老朽化したホースを更新したことにより、火災現場での漏水や破損等の発生を防止でき、現場でのスムーズな防ぎょ体制及び安全管理が確立され、本市における消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	消防用ホース（署）	指名競争入札	(株)鹿児島消防防災
			契約金額（千円） 1, 278
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
消防用ホースの計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考ええる。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
4	塵芥収集車更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市串木野環境センター いちき串木野市冠岳 10660 番地		
交付金事業の概要	塵芥収集車 1台		
総事業費 (千円)	9, 524	交付金充当額 (千円)	9, 200
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地している本市では、可燃ごみを収集している塵芥収集車は、平成18年度までは、串木野地域の可燃ごみを収集していたが、平成19年度からは、いちき串木野市全体の可燃ごみを収集するようになった。</p> <p>可燃ごみを出す日は各地区週2回で、土曜や祝日でも収集しており、市来地域を収集するようになったことで、収集車の稼働率が上がり故障修理も増えてきている。現在4台あり、そのうちの3台で収集し、1台は車検や故障時の予備車として配置している。</p> <p>現在、可燃ごみを収集している塵芥収集4号車は、排気量7,160cc、総重量7,985kg、乗車定員3名のマニュアル車である。平成11年7月に購入以来、既に15年が経過しており、現在は、エンジン等の不具合がみられ、可燃ごみ収集に支障を来していた。</p> <p>今回、更新した塵芥収集車は4t車で、最大積載量が7.5m³の円形のドラムを回転させながら、ゴミを巻き込んで積み込むロータリープレス方式で、乗車定員3名のマニュアル車である。</p> <p>今回更新した車両は、更新後これまで収集業務に119日使用しており、走行距離11,259kmとなっている。</p> <p>今回、塵芥収集車を更新したことにより、予備車の故障などの解消が見込まれるとともに、現場での収集活動がスムーズに行えるため、住民の快適な生活環境の確保に資するものと評価する</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	塵芥収集車購入	指名競争入札	いすゞ自動車九州(株)
			契約金額 (千円) 9, 524
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
塵芥収集車の計画的な更新等は、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考ええる			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

2. 事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1	救助工作車購入基金造成事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	基金の造成		
総事業費（千円）	27,000	交付金充当額（千円）	27,000
交付金事業の成果及び評価	<p>国家石油備蓄基地が立地している本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、12分団の消防防災体制を整えており、消防施設等の整備については、消防施設整備事業に基づき実施し、住民の災害等に対する不安を払拭して安心安全なまちづくりを目指している。</p> <p>本市現有の救助工作車は、導入後、既に24年が経過しており、積載している救助資機材についても、耐用年数を過ぎて安全性が保障されていないものもあるなど、老朽化による資機材の不具合等により、救助活動及び安全管理上支障を来す状況である。</p> <p>救助隊及び装備等については、消防法に基づく「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」により定められており、救助工作車に保有しなければならない救助資機材にあっても、本省令の別表において明記してあるが、必須の資機材はもとより、近隣市町等との相互協力体制の強化及び全国的な消防応援制度である緊急消防援助隊での救助活動に対応するためにも、最新の救助工作車及び救助資機材を整備することは極めて重要である。</p> <p>今回更新しようとする救助工作車は、キャブオーバーダブルキャブ型5.5トン級四輪駆動消防専用車で、車体にウインチ装置、発電照明装置、超高压油圧発生装置、超高压噴霧消火装置、クレーン装置等を装備し、より高度な救助活動にも対応できる大型油圧器具や破壊用器具、検索用器具、山岳用救助器具等の救助資機材を積載した最新型の車両である。</p> <p>最新の救助資機材を積載し、新たな機能を付加した救助工作車を整備することにより、複雑多様化する事故や特殊災害現場における人命救助活動等を安全、確実かつ迅速に行うことができるとともに、活動時間の短縮及び被害の軽減並びに隊員の省力化も図られることから、消防防災体制がより確実なものとなり、住民の安心安全が確保されるものと思われる。</p> <p>以上のような目的で救助工作車購入を行いたいが、多額の経費が掛かるため、今年度から基金を積んだものである。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	救助工作車購入基金造成事業	定期預金	鹿児島県信用漁業協同組合連合会
			契約金額（千円） 27,000
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
救助工作車購入には多額の費用が掛かることから、基金として積み立てることは今後も必要と考える。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
平成27年度			